



月刊宮司プレス第二百二十七号

彦島八幡宮 宮司ニユース
発行者 彦島八幡宮
宮司 柴田 宜夫

発行 令和七年 四月二十一日

◇宮司の柴田です。境内の桜もすべて散りつくし葉桜となりました。寒の戻りが嘘だったような、初夏の陽気を感じる昨今です。

家の宗旨が神道の方の御身内の御不幸がありますと、神葬祭(神式のお葬式)を申し受けます。その神葬祭では、逝去された故人様の生い立ちや学歴、職歴、趣味、お人柄などを言の葉に託す「誄詞(しのびことばともいいます)」を作文しなければなりません。

私は、その誄詞に必ず、「花は散りてもまた咲き、月は欠けてもまた満ちる、しかあれども人の命は一代限り」と、人の命のはかなさ、悔やんでも悔やみきれない切ない思いを奏上します。しかしながら、桜の花は、ただ花を散らすのではありません。自らを犠牲にして、新緑にかわる、来るべき夏という季節のための「義」と、思いやりという「仁」なのであります。私共は、今、命があればこそ、ごく当たり前の季節の移り変わりという、「仁義」を体感できるのであります。今月、竹の子島金刀比羅宮の例祭を皮切りに、六連島八幡宮の境内社の荒神社例祭、舟島祭

戦没者慰霊祭を御奉仕申し上げました。裏面に写真等掲載しています。

◇中国の古い言葉で、「社稷」という言葉御存知ですか。最近読んだ宮城谷昌光さんの御著書である、「張良」に書かれています。ちなみに、私は、学生時代、今は亡き実母から、立原正秋さん御著書の「花のいのち」を読むことを勧奨され、それ以来、立原正秋さんの著作を読み続けた経緯があります。神社神道が大切に行っているのは、「真、善、美」でありますが、立原正秋さんの著作に描かれているのは、「美」のあくなき追及でありました。中世、能を大成したといわれる世阿弥さんが書かれた「風姿花伝」の「秘すれば花 秘せずは花なるべからず」という言葉に出会ったのも、立原正秋さん著作からです。実家には、立原正秋さん全集があります。実は、宮城谷昌光さんは、立原正秋さんのお弟子さんだったそうなので、なんともいえない縁を感じています。

閑話

休憩、「社稷」とは、中国の論語には、「国家」、「朝廷」という意味があると書かれています。さらに、「礼記」には、建国の時に、王や諸侯が、壇を設けて祭った土地の神が、「社」で、五穀の神が、「稷」と書かれています。わかりやすく申し上げます、「社」は「産土の神」で、「稷」は、「穀物の神」とことであります。前述の竹の子島金刀比羅宮の例祭、荒神社の例祭は、まさしく、「社稷の祭り」といえるのではないのでしょうか。

◇今年、大東亜戦争終結から八十年という節目の年であります。なぜ、太平洋戦争ではなく、あえて、大東亜戦争と記述しているのでしょうか。軍人さん、軍に協力された軍属の方、民間人含め三百十万人もの尊い命が失われたのです。それは、白亜主義、白人が有色人種を支配するという人種差別の撤廃と大東亜共栄圏を構築するという、大理想実現のための戦争であったからであります。戦争には三つあることを御存知ですか。「ホーリーウォー 聖戦」、「ジャスティウォー 正義戦」、そして、「ダーティウォー 汚い戦争」です。少なくとも、私共は、大東亜戦争を「正義戦」としなければ、三百十万人の尊い命に報いることができないのではないのでしょうか。戦後八十年、平和な日々

です。実は、これを「戦間期」といいます。世界の歴史の中で、この「戦間期」

を積算すると、二百年足らずしかないそうです。まさしく、この八十年という時間は、とても貴重で尊く大切な時間なのです。三百万人も尊い命の代償に得られているわけですから、感謝の気持ちを忘れてはなりません。さらに、次世代に伝えていかねばなりません。そのような思いを共有することが大切なのです。「御英霊

の「英」は、とても貴く崇高なという意味がこめられているのですから。そのような思いを込めて、過日の戦没者慰霊祭を御奉仕申し上げます。まさしく、戦没者慰霊祭も、「社稷の祭り」、「国の祭り」でもあります。米国の独善的な政策に、日常生活も脅されつつありますが、翻弄されることなく、日本の国益に資する日々の暮らしであることを願うものです。御自愛ください。

◇三月の祭典行事報告

- ▼月次祭 *三月一日、三月十五日
- ▼貴布禰神社月次祭 *三月一日
- ▼南風泊恵比須神社例祭 *三月十五日
- ▼春季祖霊祭 *三月二十日
- ▼朝粥会 *三月二十一日

◇四月の祭典行事報告(予定も含む)

- ▼月次祭 *四月一日、四月十五日
- ▼貴布禰神社月次祭 *四月一日
- ▼玄洋中学校教職員参拝 *四月四日
- ▼彦島中学校同窓会参拝 *四月五日
- ▼竹の子島金刀比羅宮例祭 *四月六日
- ▼六連島八幡宮荒神社例祭 *四月九日
- ▼舟島祭 *四月十二日
- ※竹の子島金刀比羅宮例祭



※舟島祭



▼戦没者慰霊祭

*四月十五日

◇三月宮司動静

- ▼朝粥会 *四月二十一日
- ▼昭和祭 *四月二十九日
- ▼横浜ベイスターズ長州星山会総会にて講演 *三月二十七日



◇四月宮司動静(予定も含む)

- ▼神社関係団体
- ◆早起会参拝 *四月一日
- ◆維蘇志会役員会 *四月二日
- ◆維蘇志会総会 *四月十一日
- ▼神社庁関係
- ◆正副庁長会、役員会 *四月七日
- ◆神社庁あいさつ回り *四月八日 *四月十七日
- ◆神社庁下関支部幹事会 *四月十日
- ◆県神社総代会研修会 *四月二十五日
- ▼自治会、学校関係、人権相談員、その他
- ◆しものせき木鶏クラブ *四月一日
- ◆自治会役員会 *四月九日
- ◆自治会組長会議 *四月十九日
- ◆迫町マルシェ *四月二十日
- ◆下関人権擁護委員協議会総会

*四月二十四日